

仲間の違反の報告に対する中学生の認識

—報告の決定と報告に対する善悪判断, 告げ口の同定, ネガティブな結果の予期の関連—

楯 誠 (名古屋経済大学)

キーワード: 告げ口, 善悪判断, 結果予期

問題と目的

本研究は, 仲間・友人の違反を教師に報告すること(告げ口, tattling)に対する中学生の認識・判断を検討するものである。仲間の違反の報告の決定に当たっては, 状況要因とともに個人内の様々な認識・判断が関与すると推測される。本研究では Wagland & Bussey (2005) や楯 (2019) を踏まえ, 仲間の違反の報告に対する善悪判断, 報告によるネガティブな結果の予期(仲間へのネガティブな結果, 本人へのネガティブな結果)を取りあげ, 違反の報告の決定との関連性を検討する。またこれまで直接的に検討をされてこなかった, 仲間の違反の報告を告げ口と見なすか否かの判断と, 報告の決定との関連性を明らかにする。

方 法

調査対象 公立中学校に通う中学2年生207名(平均年齢13.92歳, 男子112名, 女子95名)が調査に参加した。

課題内容 学校内において仲の良い友人の違反を目撃した主人公が, その後教師からの問いに対して友人の違反を報告する, という仮想場面が課題として用いられた。調査対象者は, 仮想場面における主人公の報告に関する質問への回答が求められた。友人の違反内容として, 「図書室の本を破る」「廊下のポスターを破る」の2つが設定され, 調査対象者は両方の仮想場面課題に回答した。

質問内容 仮想場面課題の質問内容として, 以下のものが設定された。(1)報告—善悪判断質問 主人公が友人の違反を教師に告げることにに対する善悪判断について, 「とても悪い」から「とても良い」の7件法で尋ねられた。(2)報告—同定質問 主人公の報告を告げ口と思うか否かが尋ねられた。「「告げ口」だと思わない」から「「告げ口」だと思ふ」の5件法で評定が求められた。(3)仲間への罰質問 主人公の報告によって, 違反をした友人が教師に叱られるか否かの予測が尋ねられた。(4)仲間からの否定的評価質問 教師に報告したことによって, 主人公が友人から嫌われるか否かの予測が尋ねられた。これら2つの質問に関しては「思わない」から「思ふ」の5件法で回答が求められた。(5)報告—決定質問 「もしあなたが主人公だったら, 教師に友人の違反を報告するか否かの判断が, 「伝えない」から「伝える」の5件法で尋ねられた。

調査手続き 質問紙による仮想場面実験の手続き

が取られた。クラスごとに教師による質問紙の配布, 説明(匿名性の保証や回答が任意である旨を含む), 回収が行われた。

結 果

各質問の得点として, 2つの仮想場面における質問に対する評定値の合計が用いられた。男女差を見るために, 対応のないt検定によって平均値の比較を行ったところ, いずれの質問においても5%水準での有意差は認められなかった。

各質問間の相関を検討した結果, 報告—決定質問と報告—善悪質問の間に有意な正の相関, 報告—同定質問および仲間からの否定的評価質問の間に有意な負の相関があった。また, 報告—善悪判断質問と報告—同定質問および仲間からの否定的評価質問の間にそれぞれ有意な負の相関, 報告—同定質問と仲間からの否定的評価質問の間に有意な正の相関が認められた。仲間への罰質問は, 仲間からの否定的評価質問と間にのみ有意な正の相関が見られた (Table 1)。

Table 1 各質問間の相関係数

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
報告—決定 (Q1)		.55 **	-.34 **	.12	-.24 **
報告—善悪判断 (Q2)			-.46 **	.09	-.27 **
報告—同定 (Q3)				.08	.27 **
仲間への罰 (Q4)					.25 **
仲間からの否定的評価 (Q5)					

** $p < .01$ すべて $N = 207$

考 察

仲間の違反の報告の決定と, 報告に対する善悪判断の間に関連性が認められ, 報告への肯定的な捉え方が報告の決定を促す可能性が示唆された。また報告の決定に対して, 報告を告げ口とみなす程度や, 報告によって友人からネガティブな評価を受けるかどうかの予測も関連していることが示された。報告を告げ口とみなす判断, 報告によって仲間から嫌われるという予測は, 教師への報告を抑制する可能性が推測された。

引用文献

- 楯 誠 (2019). 仲間の違反の報告に対する児童の認識に教師からの質問の有無が与える影響の検討 日本教育心理学会総会発表論文集, 61, 223.
- Wagland, P., & Bussey, K. (2005). Factors that facilitate and undermine children's belief about truth telling. *Law and Human Behavior*, 29, 639-655.